

第18回 気象サイエンスカフェ in 名古屋

日時：2020年2月16日（日）

午後3時から5時まで（受付：午後2時30分より）

講師 立花義裕氏

（三重大学 生物資源学部教授）



テーマ

強い寒波や豪雪をもたらす

北極温暖化と海氷の激減

地球温暖化時代にもかかわらず、豪雪や強い寒波がしばしば来襲しています。アメリカでもここ数年厳冬が続いており、トランプ大統領に代表される温暖化懐疑論者は血気盛んです。

一方、アラスカの北の北極海の海氷が急激に減少しています。

我々は北極の海氷減少が、日本に寒波を来襲させることを突き止めました。そのしくみを気象学・気候力学・海洋学の最新の研究成果を交え、わかりやすく解説します。

多発する異常気象や気象災害といった「気候危機」を回避し、持続可能な未来社会の構築のため、私たちはどうすればよいのかを皆さんと一緒に考えます。

会場：ナディアパーク7階「セブンスカフェ」
名古屋市中区栄三丁目18-1

定員：40名（先着順）

参加費：600円 飲み物、スナック付き（高校生、大学生は半額300円）

申込方法：s_cafe_nagoya@yahoo.co.jp 日本気象予報士会東海支部 加藤あて
件名を「気象サイエンスカフェ参加希望」とし、本文に住所、氏名、電話番号、
所属（気象予報士会会員、大学生、自治体、会社員等）を記載。
複数名の場合は代表者の情報に加え、参加人数を記載してください。

（申込時に記載された個人情報はサイエンスカフェ参加の連絡以外は使用しません）

主催 （公社）日本気象学会中部支部 、 （一社）日本気象予報士会東海支部